

2021年10月1日
(一社)日本外航客船協会

2021年10月～12月の国内クルーズの運航方針について

2021年6月19日付で発表した「国内クルーズの運航再開にあたって」については、本邦クルーズ船を運航する当協会の会員3社が行う2021年度上半期(2021年9月28日まで)のクルーズを対象としておりました。10月1日～12月31日につきましては、会員3社は以下の対応をとることでクルーズ船の運航に臨むものいたします。

○3社とも乗船前の事前PCR検査の実施に加え、乗船当日にPCR検査を実施し、乗船されるお客様が「感染リスク低」であることを確認のうえ、出港いたします。

○クルーズの催行日数については、5泊6日を上限として、各港湾管理者等と協議の上決定いたします。

(考え方)

3社は、本年7月～8月下旬までの間、3泊4日を上限とするクルーズを実施し、当協会ガイドラインに記載された感染症対策を遵守するとともに、乗船日の概ね10日前の事前PCR検査および乗船当日のPCR検査もしくは抗原検査を実施することで、特段の問題は発生しませんでした。

乗船当日の検査につきましては、3社ともより精度の高いPCR検査に統一いたします。これは、よりお客様が安心して乗船できる環境を提供すべく、会員3社が全ての出発地でPCR検査が可能となるよう準備を整えたことによるものです。

クルーズの催行日数については、乗船前の検査態勢を向上させたことに伴い、感染状況を注視しつつ、5泊6日を上限として各港湾管理者や保健所など関係者と協議のうえ、決定いたします。

※本方針に関しましては、対象期間(10月1日～12月31日まで)に関らず、感染状況および政府による対策等の進展を踏まえ、内容の見直しを行うこともあります。

※船内の感染症対策につきましては、3社とも当協会の定めるガイドラインに従い、乗船から下船に至るまでの感染症対策を徹底しております(最新ガイドラインは以下HPに掲載されています)。

http://www.jopa.or.jp/document/covid19_guidelines_5th_edition.pdf